

アリーナの実現を核とした白山エリアの取り組みについて

報告資料 2

1.本市の現状と課題

■課題

- 若者の市外・県外への流出
 - ・20～24歳の県外への転出超過が多く、地域活力の低下と地域経済の縮小等を懸念
- 白山エリアのスポーツ施設の老朽化
 - ・白山エリアのスポーツ施設は、1964年の新潟国体を機に整備され老朽化が進行

■本市の基本的な考え方

- 市民に新たな楽しみをつくること
- まちづくりと賑わい創出につながる
- 県の保有する施設と機能が重複しないこと

2.検討内容

■アリーナの新設

スポーツ（プロスポーツ、国際大会など）



SAGAアリーナ（プロバスケットボール）
©佐賀バルーンズ

MICE（展示会、コンベンション等）



SAGAアリーナ（学生・企業交流イベント）
©佐賀県

エンターテインメント（コンサートなど）



オープンハウスアリーナ太田（ショーイベント）

防災拠点（避難所、物資の拠点）



石川県産業展示館（緊急物資集積所・避難所）
出展：内閣府HP

■市陸上競技場の改修、または建替

■市体育館・サブトラックの廃止

■PFIにより、民間の資金と経営力・ノウハウを活用し、効果的・効率的な整備、運営

3.白山エリアについて

■白山エリアは、現在でも年間70万人以上が利用し、日常的に市民が訪れる拠点

- 新潟市陸上競技場、新潟市民芸術文化会館、新潟県民会館など、文化・スポーツの拠点

■白山エリアとまちづくりとの連動

- 高い公共交通サービスと隣接する滞在空間
 - ・白山エリアに接続する高いバスサービス
 - ・JR白山駅から徒歩10分以内でのアクセス
 - ・周辺にシェアサイクルステーションあり
 - ・やすらぎ堤や白山公園を活用した、大規模来場者の滞在空間あり
- 多くの若者がまちなかに滞在
 - ・「にいがた2kmエリア」に多くの専門学校が立地
 - ・新潟市内に大学等の数が15校、2.5万人の学生が滞在
 - ・人口10万人当たり専門学校の生徒数が政令指定都市の中で第4位
- 訪れた方と「まち」との接点
 - ・白山エリア周辺には、新潟の湊町文化、食文化を感じられるサービスが豊富
 - ・にいがた2kmエリアに、宿泊室数7,000室以上（1万人以上が宿泊可能）
 - ・にいがた2kmエリアに、駐車場区画数1万台以上

4.現在の取り組み

■アリーナの施設規模や機能、稼働日数などのほか、施設配置の考え方、官民の役割分担などを検討

- 民間事業者との意見交換の実施（昨年度から50社以上と意見交換を実施）
- 令和8年4月～5月にかけて先進地を視察

東京都：TOYOTA ARENA TOKYO／愛知県：IGアリーナ

静岡市：静岡アリーナ（事業者と契約予定）／京都府：京都アリーナ（整備中）

神戸市：GLION ARENA KOBE／岡山市：今後事業者募集

→運営の知見や、アリーナを核としたまちづくりの取り組みについて把握

■白山エリアの敷地測量を実施

■市民の機運醸成

スポーツ施設を拠点としたまちづくりの取り組みについて、市民の機運を高めるとともに、官民の連携した取り組みとなるよう、シンポジウムの開催等を検討

アリーナを核としたまちづくりの取り組みにより、エンタメ・文化・スポーツの情報発信拠点の形成と交流人口の拡大、まちづくりとの連動によるまちの賑わい創出が期待できる